

私の鉄道模型(Nゲージ)の世界へようこそ！ 中西 克憲さん(松阪)

まずNゲージとは、レール幅が9mmであることから英語の9(Nine)の頭文字をとってN(エヌ)ゲージと呼ばれる縮尺1/150の鉄道模型のこと。1両の大きさが約11~15cmとコンパクトで最も普及している規格です。



私は幼少期のプラレールから始まり、成長と共に鉄道模型に入り込んでゆき、車両が電池切れの心配もなく金属レールの上を走り、有線式のコントローラーによって、発車・徐行・停止とポイントの切り替えなど、全てを思いのままにコントロールしています。



今となっては、車両も段々と増備し、新幹線のN700系16編成を初め、JR特急の数々や近鉄特急の「ひのとり・しまかぜ」など、車輛照明のLED化への改造、自動信号機の設置等々、日々進化の道をたどっています。聞こえるんです！レールの継ぎ目を踏む、ガタン・ゴトンという音が…。

(中西さんの「鉄道模型・車両基地」は、愛する鉄道模型でいっぱいです！)

トコトコ！スーパー・カブ散歩！ 西村 俊明さん(中南勢)

スーパー・カブに乗り始めたきっかけは若かりし頃からの「リターン・ライダー」です。(若い時に乗っていたが、再び乗り始めた)

カブにした理由は、①車体も保険も安い！②自分でメンテやカスタム化ができる、③高速道路では走れないが遠出ができる、④一人で密にならずに自由に走れることなどです！。



とあるお店の開店にて



カブ散歩で見た星空

乗っている車種は1993年式のスーパーカブ90HA02で、今はグーグルマップで、ポツンとあるカフェやパン屋さんを探して、カブ散歩をしています。

元々の趣味は、「巡礼と星空」です。巡礼では、『伊勢西国33ヶ所観音巡礼』を結願(満願)しました。

また、光害(ひかりがい)の無い所で思う存分、星空を眺めてみたいのと40年後のハレー彗星を見られたらイイな！と思っております。それと、興味の延長で「星空ソムリエ」という資格も取得しました。

還暦からのレストラン経営！ 本多 和夫さん(松阪)

Panasonic 勤務 25 年で 2002 年に退職後、様々な仕事を経験しました。調理師免許は松阪の老舗イタリアン・レストランで厨房スタッフとして5年間ほど業務をして取得しましたが、諸事情により元のサラリーマンへ転職し、仕方なく60歳まで飲食業を封印していました。



やってみたかった飲食業を2018年にシェア・レストランとしてオープン、そして2020年の夏、松阪市岡山町のログハウスを借りることができ、コロナ禍の同年11月に「趣味・特技」が高じて、念願だった自分のお店を開業することができました。(写真④:お店は「びすとろ Honda」と命名)



お店ではイタリアンの創作料理をベースに金曜・土曜にランチとディナーを営業。北欧風ログハウスのアットホームな店内で、お食事を提供しております。

④:お客様を迎える本多さんと料理(例)

⑤:(ご参考)お店のHP/QRコード

